

日 時	令和6年10月25日(金) 15:00～16:00
学校名/機関名	宇河地区中学校・宇都宮地区高等学校生徒指導連絡会
対 象	教職員 70名
講 師	陳 賢徳 氏 (株式会社フェドラ 代表取締役)
内 容	<p>「多様化する社会で、今、生徒指導に求められること」と題して講演が行われた。</p> <p>陳氏は、韓国人ということで様々な場面で非常にハードルが高いことがあったが、それをどうやってなくすかを考えた。ハードルをなくすと言うのは簡単だが、非常に難しかった。しかしハードルは乗り越えるべきだし、乗り越えられる。差別やいじめを受けると自信をなくす。自信をなくすとハードルを越える元気がなくなっていく。それを変えていくためには、事実を知ることが大切である。教育こそ全ての原点であり、教育によって様々な事実を学び、そのことによって自分自身のアイデンティティや自信を確立し、自信をもって社会生活を営んでいける。</p> <p>ダイバーシティの原点は、あった事実を学習して知っていくこと。基本的人権を大切にし、そのことによって多くの若者が社会に参加して社会の発展の原動力になっていくものだと語っていた。</p>

